

科目名[英文名]	技術経営論B [Management of Technology B] …Q1 またはQ2 で履修する	
開講期 曜日・時限	Q1 (4/12~5/31) 水曜4限(14:45~16:15) 自然科学大講義棟 大講義室A(対面)	
	Q2 (6/13~7/25) 火曜5限(オンデマンド型)	
コーディネーター	木綿 隆弘	E-mail: kiwata@se.kanazawa-u.ac.jp
担当講師陣	[氏名]	[所属]
	喜多 健太	金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 特任助教
	太田 貴章	BS 国際特許事務所 弁理士
	中村 尚人	(有) 金沢大学ティ・エル・オー(KUTLO) 代表取締役
	大槻 純也	(株) ダイセル 知的財産センター知的財産ソリューショングループ 主任部員 弁理士
	伊藤 広	EIZO株式会社 知的財産部 知的財産課・課長
	金山 義男	NECソリューションイノベータ 北陸支社・新規事業推進G シニアプロフェッショナル
吉川 智雄	(株) ソフトクリエイトホールディングス 上席執行役員	
キーワード	MOT, 産学連携, 特許, 知財管理, 技術移転, 人財, キャリアデザイン	

◆授業の主題・目標

本講義は、技術経営 (MOT) とは何かについて、その必要性からはじめ、その背景、構成する基礎分野、応用など事例紹介も交えて興味深く紹介する。グローバルな現代社会における技術経営学を学ぶ動機付けになることを目指し、特許活用、知財マネジメント、技術移転などの知財関係、企業で必要となる人財と組織、キャリアデザインなどを学習する。

◆授業の概要

1. 知財入門 (喜多) …身近な発明の紹介から入り、知財権の種類、特許に関する出願権利化手続き、特許要件等基礎知識を学ぶ。
2. 特許調査 (太田) …知財調査の重要性を知り、J-PlatPat で簡単なキーワード検索ができる様に特許調査の方法を学ぶ。
3. 技術移転 (中村) …特許の利活用について理解を深めると共に、技術移転やライセンス契約の概要について本学の例から学ぶ。
4. 企業の知的財産活動 (大槻) …企業の研究開発者における知財業務、企業における特許出願の意義、大学との共同研究に関する知財業務などを理解し、企業にとっての知的財産活動の重要性を学ぶ。
5. R&D と知財戦略 (伊藤) …企業の経営戦略、事業戦略を実現するために重要となる R&D 戦略と知財戦略の構築方法について学ぶ。
6. 成熟社会で求められている人財と組織 (金山) …現代社会で企業が成長し続けるためには、技術力に加え、これを実現する人財、組織が重要となる。本講義では、これからの企業で必要となる人財と組織について学習し、受講者がこれから社会人になっていく上で重要なことを学ぶ。
7. キャリア選択のための企業論 (吉川) …これからキャリアデザインを構築する学生を対象に、そのために必要な基礎知識と抑えるべきポイントについて解説する。企業とはどのような存在で、そこで必要とされる人材像とはどういうものなのか？自らに合った企業を選択し、悔いのない人生を送るためにはどうすべきか、様々な企業で働いた講師の経験を基に、激動の時代を生き抜くための要点を学ぶ。
8. まとめ (木綿) …技術経営論入門 B の技術マネジメントに関する授業のまとめを行う。

◆テキスト・参考書・教材等

教科書：特になし。必要に応じて講義時に各講師またはLMS コースから講義資料を配付する。

◆履修登録と履修制限等について

本科目は、「大学院GS 基盤科目」の選択必修1単位の科目群に分類される。Q1の履修登録は、講義室の収容人数に制限があるため、**先着順**になることを注意して下さい。「**対面を避けたい**」「**個人的理由で欠席する**」などの場合は、Q2に**履修**して下さい。さらに、MOT（技術経営論）コースの科目でもあり、全科目（6単位）を修得した方には、「MOTコース修了認定証」が大学院修了時に交付される。

◆講義日程

Q1 講義（基本的に「対面型」で実施する）

	学期	開講日	授 業 題 目	担当講師
B-1	Q 1	4 月 12 日(水) 4 限目	知財入門	喜多 健太
B-2	Q 1	4 月 19 日(水) 4 限目	特許調査	太田 貴章
B-3	Q 1	4 月 26 日(水) 4 限目	技術移転	中村 尚人
B-4	Q 1	5 月 1 日(月) 4 限目	企業の知的財産活動	大槻 純也
B-5	Q 1	5 月 10 日(水) 4 限目	R&D 戦略と知財戦略	伊藤 広
B-6	Q 1	5 月 17 日(水) 4 限目	成熟社会で求められている人財と組織	金山 義男
B-7	Q 1	5 月 24 日(水) 4 限目	キャリア選択のための企業論	吉川 智雄
B-8	Q 1	5 月 31 日(水) 4 限目	まとめ	木綿 隆弘

Q2 講義（基本的に「オンデマンド型」で実施、授業の動画を視聴して課題を提出する）

	学期	開講日	授 業 題 目	担当講師
B-1	Q 2	6 月 13 日(火)	知財入門	喜多 健太
B-2	Q 2	6 月 20 日(火)	特許調査	太田 貴章
B-3	Q 2	6 月 27 日(火)	技術移転	中村 尚人
B-4	Q 2	7 月 4 日(火)	成熟社会で求められている人財と組織	金山 義男
B-5	Q 2	7 月 11 日(火)	R&D 戦略と知財戦略	伊藤 広
B-6	Q 2	7 月 18 日(火)	企業の知的財産活動	大槻 純也
B-7	Q 2	7 月 25 日(火)	キャリア選択のための企業論	吉川 智雄
B-8	Q 2	8 月 1 日(火)	まとめ	木綿 隆弘

◆成績評価の方法

レポート（80%）、ミニツツペーパー（20%）で評価し、60点以上を「合格」とします。なお、締切日後の課題提出は、原則受け付けません。

◆コーディネーターから受講生へのメッセージ

本科目「技術経営論」はMOTコースの6科目の中心的基礎をなす入門編です。講師陣には技術マネジメント教育の専門家を中心に、化学・素材・電機メーカなどの技術開発、研究など第一線で活躍してきた実績と経験のある学内外の講師、特許事務所を経営する弁理士など、多彩な講師陣が、事例を豊富に取り入れて分かりやすい技術経営論を展開する。